

令和4年度 第2回松本市文化芸術振興審議会 次第

日 時 令和5年3月14日（火）

13時30分～14時30分

場 所 大手事務所2階 サポートセンター会議室

1 開 会

2 会議事項

- (1) 松本市文化芸術推進基本計画の進捗について
- (2) 今後の展開について

3 その他

4 閉 会

重点施策の進捗状況

| 分野方針 | 基本的施策（重点施策） | 令和4年度の取り組み内容 | 主催 | 松本市の対応 | 実績 | 備考 |
|------------------------|-----------------------------|--|-----------------------|--------|---|---|
| I 文化芸術振興施策の総合的な進捗 | ①情報発信・各種制度等の窓口相談機能 | 松本まちなかアートprojectの実施【新事業】 ・既存ツールを利用したアート活動の情報発信（ホームページ、公式アカウント、公式YouTubeなど） | | | 公式ホームページによるアート活動の発信を実施 | ・情報発信は「お知らせ」の3枠しかトップページに出てこないため、すぐに情報が得られない。 ・市の運営であるため民間の実施する活動の情報が得られていない。 |
| | | アーティストバンクの登録制度 ・市のホームページにて情報発信 | | | アーティストバンク登録者⇒88団体 | ・市のホームページからアーティストバンク登録者の一覧を見つけるのが複雑である。 |
| II 文化芸術の振興に関する連携・交流・活用 | ②観光・クリエイティブ産業等との連携・振興 | 市民参加料理コンクール ・地元野菜等を使った市民参加型料理コンクール（郷土の物産を取り入れ、市民参加のもと広く食文化の伝承と地域の発展に寄与）（10/8開催） | 松本ふるさと料理コンクール実行委員会 | 共催 | 出品数 120品 ・一般 88品 ・プロ 16品 ・野菜メニュー 15品 ・プロの参考出品 1品 大会入場者数11,000人 | |
| | | 医療、福祉施設等でのワークショップの検討 ・関係課(障害福祉課)や病院、松本市芸術文化振興財団と協議し、モデルケースとなる文化芸術のワークショップを計画する。 | | | | コロナのため受入れ停止中 |
| | ④文化財の保存・活用 | マツモト建築芸術祭の実施 ・松本市街地の有形文化財などの歴史的建造物とアートを融合（初回 令和4年1月、2月に実施。令和5年1月頃に予定） | マツモト建築芸術祭実行委員会 | 後援 | ・2月4日（土）～26日（日）まで実施 ・市内19か所 ・観覧者数 81,500人 （有料チケット 5,350人） | |
| III 文化芸術を担う人材の養成・確保 | ⑤文化芸術に関心を高めるための子ども・若者への取り組み | 学校等でのワークショップの検討 ・関係課(学校教育課など)や学校、松本市芸術文化振興財団と協議し、モデルケースとなる文化芸術のワークショップを計画する。 | | | 音楽文化ホール自主事業 「おでかけオルガン」 保育施設 4か所 (福祉ひろば 1か所) 参加人数 330人 | 「おでかけオルガン」は、音楽文化ホールに入ることのできない小学生未満の子どもと福祉ひろばを対象に実施 (年5回程度実施) |
| | | セイジ・オザワ松本フェスティバル 教育プログラム ・子どもたちが生の音楽に触れられる。若手音楽家を育てる機会の創出（子どものためのオペラ、子どものための音楽会） | セイジ・オザワ松本フェスティバル実行委員会 | 共催 | 子供のためのオペラ 参加者4,171人（49校） 子供のための音楽会 参加者7,456人（145校） | 実施日：8月30日、31日 対象者：県内中学校1年生 実施日：9月7日、8日、9日 対象者：県内小学校6年生 |
| | ⑥アーティスト等への支援、指導者育成 | 松本まちなかアートprojectの実施【新事業】 ・アーティストバンクを活用したアート活動の推進 | | | アーティストバンク交流会を実施（参加者12組） | ・アーティストバンク登録者同士がつながり、総合文化祭を実施することを検討 ・定期的な交流会の開催が必要 |
| IV 文化芸術活動の環境の整備・充実 | ⑦活動機会の提供・充実 | 松本まちなかアートprojectの実施【新事業】 ・誰もが気軽にアート活動ができる会場を提供（施設使用料の減免、気軽にイベントを開催できる場所を確保） | | | 松本まちなかアートproject推進会議にて検討中 | |
| | | 街中がステージだ City of Stage Matsumoto ・プロ、アマ問わず、アーティスト・表現者が簡単に街中で表現活動ができるよう発表の場を提供（9/17開催） | 一般社団法人松本青年会議所 | 後援 | 参加アーティスト 計25組 ・パフォーマンス系17組 ・アート系 8組 | |
| | | 楽都・まつもとライブ ・松本市ゆかりの音楽家が市街地で幅広いジャンルの音楽を生演奏（月2回開催） | 楽都・まつもとプロデュースチーム | 共催 | 公演数 19回 出演団体 32組（94名） 閲覧者数 6,814人 | ・2月末時点の集計 ・WEBコンテンツでも配信 閲覧者数 8,678人 |

令和5年度の取り組み

| 分野方針 | 基本的施策（重点施策） | 令和5年度 |
|-------------------------|--|---|
| I 文化芸術振興施策 の総合的な進捗 | 重点① 情報発信・各種制度等の窓口相談機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・「松本まちなかアートproject」のホームページに専用SNSでの発信情報を掲載するコンテンツを追加 ・アーティストバンクの情報を「松本まちなかアートproject」ホームページにも掲載し、多くの人に周知する体制を整える。 |
| | 関係機関等のネットワーク化、連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・街中の関係団体と実行委員会（松本まちなかアートproject）を組織し、新たなアート活動の発信に取り組む。 ①(仮称)まちなか山崎貴展 ②まちなか大道芸&ジャズフェスティバル |
| II 文化芸術の振興に関する連携・交流・活用 | 重点② 観光・クリエイティブ産業等との連携・振興 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当課（商工課、観光プロモーション課など）や関連業者（商工会議所、観光コンベンション協会）と連携し、さらに文化芸術の普及、振興につなげる。 |
| | 地域活性化、まちづくりとの連携・振興 | |
| | くらしの文化の振興 | 伝統行事である「ぼんぼんと青山様」について、市内での実施状況など実態調査を行う。 |
| | 重点③ 健康、医療、福祉分野等における文化芸術の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・各医療機関、福祉施設等でのコロナ感染症による制限が解除され次第、ワークショップ、アウトリーチの実施を検討する。 |
| | 重点④ 文化財の保存・活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・「マツモト建築芸術祭」の後援を継続し、文化財の活用に協力する。 |
| III 文化芸術を担う 人材の養成・確保 | 重点⑤ 文化芸術に関心を高めるための子ども・若者への取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・松本音楽文化ホールの自主事業「おでかけオルガン」を継続して実施できるよう支援する。 ・「おでかけオルガン」をモデルケースとして、地元アーティストの活用ができないか検討する。 |
| | 文化芸術専門職の育成・資質向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・まつもと市民芸術館、音楽文化ホール、美術館（学芸員）の専門職同士の意見交換を実施し、新たな発想につなげる。 |
| | 重点⑥ アーティスト等への支援、指導者育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストバンク登録者交流会を継続して実施する。登録者同士がつながり、発表会を実施する際は、会場の提供など協力、支援を行う。 |
| IV 文化芸術活動の 環境の整備・充実 | 重点⑦ 活動機会の提供・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内のイベントにおいて、関連したステージや展示会場が設けられる場合に、地元アーティストが出演・出店できるよう情報提供を行う。 ・教育委員会と連携し、中学生の土日の文化系部活動移行に伴う受け皿となる地域団体について検討する。 |
| | 活動環境の整備 | |